

南阿蘇村合併10周年記念式典・イベント 開催



平成17年2月13日に旧白水村・旧久木野村・旧長陽村の合併により、南阿蘇村が誕生し、その10周年を記念して、2月15日、長陽中学校体育館で、「南阿蘇村合併10周年記念式典・イベント」が開催されました。式典は、「大阿蘇名水子ども太鼓」による和太鼓演奏で開幕。国会議員や近隣市町村、本村と姉妹町村である長崎県の新上五島町などから多数の来賓が出席され、長野村長による式辞、荒牧村議会議長によるあいさつの後、県知事代理で小野泰輔副知事のほか3人による来賓祝辞が述べられました。引き続き「功労者表彰」が行われ、「地方自治」、「地域振興」、「環境保全」、「社会福祉」、「産業振興」、「教育文化」の6部門で、それぞれの代表者に長野村長から表彰状が手渡され、個人280人と33の団体が表彰されました。

イベントでは、「よしもとお笑いステージ」が行われ、ステージを一目見ようと多くの来場者で埋めつくされました。5組のお笑い芸人のステージに、会場では笑い声が響き渡り、大盛会でした。

- ①式典で式辞を述べる長野村長
 ②「地方自治部門」で功労者表彰を受けられ表彰状を受け取られる今村輝昭前村長
 ③④⑤⑥各部門の代表で表彰状を受け取られた被表彰の方々 ⑦各部門の被表彰の方々

南阿蘇村の歩み

【平成17年】

- ・2月13日 南阿蘇村誕生
- ・4月1日 ふれあい循環バス運行開始
- ・12月5日 新上五島町との姉妹町村提携調印

【平成18年】

- ・5月15日 村歌「大地の讃歌」完成
- ・7月29日 「二心行公園」開園式
- ・8月1日 「村木」「村花」「村民のチョウ」「村鳥」制定
- ・11月3日 九州東海大学（現東海大学阿蘇キャンパス）と「地域総合交流に関する協定」締結

【平成19年】

- ・10月17日 キャッチフレーズ「世界一のカルデラの村南阿蘇」決定

【平成20年】

- ・2月11日 長野貞春氏（長野区出身）桜の苗木1万本を寄贈
- ・2月29日 国民宿舎「南阿蘇」閉館
- ・6月25日 「南阿蘇村湧水群」が「平成の名水百選」として選出される



⑧来賓祝辞を述べられる小野泰輔副知事 ⑨来場者の受け付け会場 ⑩来賓祝辞を述べられる坂本哲志衆議院議員
⑪式典のオープニングを飾った「大阿蘇名水子ども太鼓」の和太鼓演奏 ⑫式典に花を添えられた来賓の方々
～記念イベント「よしもとお笑いステージ」～
⑬デニス ⑭ダイノジ ⑮もっこすファイヤー ⑯テンダラー ⑰めんたいこ ⑱お笑いライブを見て大笑いする来場者

- 【平成24年】

 - ・2月23日 「京都大学理学研究科附属地球熱学研究施設火山研究センター」が本村初の登録有形文化財に登録

・3月9日 新型ゆるっとバス「みなみあそカルデラ号」発表会

【平成23年】

 - ・1月1日 村消防団女性分団華やかに誕生
-
- 【平成22年】

 - ・4月30日 情報発信拠点施設「南阿蘇村観光案内所」落成

【平成21年】

 - ・2月5日 「南阿蘇桜公園」記念碑除幕式
 - ・12月10日 「村民憲章」制定

「南阿蘇村合併10周年記念式典」が、2月15日長陽中学校体育館で盛大に開催されました。

この式典で話された長野村長の式辞、荒牧議長らの祝辞の要旨を掲載します。

村長式辞



式辞を述べる長野村長

南阿蘇村は、平成17年2月13日、三村が合併し誕生致しました。この三村は、古から地形的にも人的交流においても、非常に結びつきの強い地域であり、合併への異論、強い反対などありませんでしたが、ここに至るまでには、平坦な道のり、順風満帆であったわけではありませんでした。それぞれの村で個性を生かした村づくりを進め、それが失われてしまう不安、戸惑いがあつたからです。そうした中、さまざまな調整を経て合併協定書の締結に至りました。本日、10周年の節目を迎えましたことは、感慨ひとしおであり、村政運営に深いご理解を

いただいている村民並びに議会の皆さまの努力の賜物であると、心より感謝と御礼を申し上げます。

さて、この10年を振り返ってみますと、合併当初は地方交付税や国庫補助金の削減により、極めて厳しい財政運営を余儀なくされました。人件費の削減や補助金のカットなど痛みを伴う改革に、村民の皆さまのご理解・ご協力のもと取り組んでまいりました。そのような中、初代村長今村輝昭様の4年の任期中には、三村の融和を第一に南阿蘇村の基礎づくりを進められました。

村政を預かりましたこれまでの6年間で、まずは財政の建て直しを念頭に置き、行政の改革に取り組み、財政の健全化については、大幅の改善を行うことができたと思っております。財政基盤を強化することも重要でしたが、その一方で村民の皆さまが期待する合併後の新しい村づく

りに対する取り組みも待ったなしの状況でありました。

これまで取り組んだ主な事業を申し上げますと、一心行公園の整備や観光案内所の新設、白川水源駅新駅、光ブロードバンド整備、頑張る地域支援補助金の創設、さらには南阿蘇西小学校の開校など、ひとつひとつの事業を挙げれば枚挙にいとまはありませんが、長陽地区の小学校の統廃合につきましては、判断に苦しみました。小学校の各地域での存在は大きく、シンボルであり、何より心のふるさとでもあるからです。一部の方々から反対の強い意見や行動もあり、その思いは十分理解すべきものではありませんが、本村における少子化の波は思いのほか早く、複式学級が増え、学業面、スポーツ面において支障をきたす状況であり、学校適正規模等審議会の答申・進達を受け、議会と共に、社会の変化に対応し、将来を生き抜く児童を育てるため、児童生徒の教育環境を整備することは、行政に付託された使命と考え、小学校再編を進め平成24年4月に南阿蘇西小学校の開校となりました。

現在、新しい学校に笑顔で通う子どもたちを見て、学校統合を進めて本当によかったと思っているところです。

一方で忘れてはならない出来事が、九州北部豪雨です。土砂災害が発生し、2名の尊い命が犠牲になられたことは痛恨の極みでした。避難指示を発令した旧立野小学校においては11日間にも及ぶ避難生活を余儀なくされ、さらに白川の氾濫など村内至るところに大きな災害が発生し、目を覆うばかりの惨状でした。そのような中、消防団、広域消防、警察、自衛隊の皆さんには人命救助、給水活動などに迅速・懸命に全力を尽くしていただきました。また、村内の各団体、ボランティアの方々にもお世話になり、多くの方々から支援物資、義援金が届けられました。災害が起きたことは残念なことでしたが、一方で「ひとの力・ひとの心」の大きさを実感し感謝する、そのような出来事でもありました。昨年11月阿蘇中岳第一火口が21年ぶりに噴火致しました。現在も噴火活動が続いており、今後とも自然災害に備えなければならぬ

・3月17日 「南阿蘇白川水源駅」開業



・4月1日 長陽、立野、長陽西部小学校が統合し「南阿蘇西小学校」開校



・7月12日 九州北部豪雨災害発生。2人の尊い命を奪う



と思っております。

さて、現在進めている事業について言及させていただきますと、長陽地区の3つの保育園の統廃合事業、さらには村内3つの中学校の統廃合など、南阿蘇村は大きく動き始めております。

中でも合併当初からの、懸案事項でありました庁舎整備を、河陽地区に新築すること

で進めています。既存庁舎の改修案と新築案で検討を重ね、多くの方々のご意見・ご提言をいただき、時間を掛けて熟慮に熟慮を重ねました。その結果、財政状況も好転し、災害時の拠点、交通の利便性、整備事業費などさまざまな観点から検討し、何より合併協議会の決定を尊重し、合併特例債という有利な財源がある時期に将来への資産を残すということから新庁舎建設との結論に達しました。新庁舎は合併のシンボルでもあり、村民の心の融和のシンボルでもありますので、新しい庁舎の完成に、ぜひとも期待していただきたいと思います。

本日迎えた合併10周年という節目の年は、記念すべき日であるとともに、11年目の新

たなスタートラインに立った日でもあります。これまでの10年間の歩みをしっかりと踏まえつつ、これから村民の皆さまが安心して暮らせる村づくり、住んで良かったと本当に喜んでいただける村づくりを基本理念に、議会と行政が車の両輪となって新たな飛躍に向け全力で取り組んでまいりたいと考えています。

平成27年2月15日

南阿蘇村長 長野 敏也

議長祝辞



祝辞を述べる荒牧議長

平素より南阿蘇村議会発展のために、ご尽力を賜りました誠にありがとうございます。南阿蘇村合併10周年記念式典を挙行されるにあたり、心よりお祝いを申し上げます。

さて、本村は平成17年2月13日に3つの村が合併、住民アンケートの結果を尊重し、

平成の大合併において全国で初めて村として誕生、住民の皆さま方の大きな期待のもとに発足しました。

今日までの10年間は、社会・経済全般にわたって大きな変化の時代でありました。

村においては、平成24年に発生いたしました九州北部豪雨災害発生からの復旧事業も無事完了いたしました。また、世界農業遺産に続き、昨年10

月には世界ジオパーク認定などもあり、今後の村の活性化につながるものと期待をしております。

さて、我が国は急激な少子・高齢化、経済のグローバル化の進展、住民の価値観・生活様式の多様化など、社会経済全般にわたる構造的な変化に直面しており、従来のシステム全体の変革と新たな創造を迫られております。

このような中、村執行部・議会として村民の皆さまに安心して暮らしていただけるよう、施設の整備や、教育・文化・福祉・産業の振興など、諸施策を次々と進め、村の目指す将来像へ向け、協働で確実に歩んでいることは、誠に慶ばしいかぎりであります。

今後、課題であった統合庁舎建設、3つの中学校を統合した新生、南阿蘇中学校の誕生も予定されております。

本村の将来は村民一丸となり更に一層の発展が期待されているところであります。

これもひとえに、村民の皆さまをはじめ、関係各位皆さま方のご理解の賜物と深く感謝を申し上げます。

村議会といたしましては、合併10周年の歩みから、先人が築き上げた文化や歴史を再認識し、未来へつなげていくとともに、「豊かで活力のある村づくり」そして「つながり・にぎわい・未来を創造する村」を実現するため、議員一同、より一層の努力をいたす所存であります。

終わりに、合併10周年を祝し、南阿蘇村のますますの発展とご来賓各位並びに村民の皆さま方のご健勝とご活躍を心よりご祈念申し上げます。

平成27年2月15日

南阿蘇村議会議長

荒牧 俊一

【平成25年】

- ・2月28日 村消防団に「防災功労者消防庁長官表彰」
- ・7月12日 新所区で九州北部豪雨災害追悼式
- ・9月1日 村消防団に「平成25年防災功労者内閣総理大臣表彰」

【平成26年】

- ・3月19日 ハイコムウォーター(株)進出協定調印式
- ・5月29日 中学校統合に向け「開校準備委員会」設置
- ・7月28日 長陽地区統合保育所(仮称)起工式
- ・12月12日 12月定例会において、新中学校名が「南阿蘇中学校」に決定

【平成27年】

- ・2月3日 「みなみあそコミュニティセンター」竣工式
- ・2月15日 南阿蘇村合併10周年記念式典・イベント開催